

# ロタウイルス感染症の予防接種が 定期接種になりました

保健医療課医療予防係 ☎0824・73・1155

10月1日から、新たにロタウイルス感染症の予防接種が定期接種（法律で定められた予防接種）になりました。

○対象者  
令和2年8月1日以後に生まれた人で左記の接種期間に該当する人（ロタウイルスワクチンは2種類あり、ワクチンごとに接種期間が異なります）

ロタウイルス感染症は、ロタウイルスによって引き起こされる、急性の胃腸炎です。乳幼児期（0～6歳ごろ）にかかりやすく、主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。通常、5歳までにほぼ全ての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。脱水症状がひどくなると入院治療が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%はロタウイルスが原因です。



## ○接種期間および接種回数

ワクチン名	接種期間	接種回数
ロタテック®(5価)	生後6週～32週	3回
ロタリックス®(1価)	生後6週～24週	2回

※初回接種は、生後6週～14週6日に受けてください。  
初回の接種を生後15週以降に受けることはおすすめしません。  
※2回目以降の接種は27日以上の間隔を空けて行います。  
※2回目以降は、1回目と同じワクチンを接種してください。

※その他、予防接種に関する不明な点は保健医療課にご相談ください。

# 10月は「骨髄バンク推進月間」です

保健医療課医療予防係 ☎0824・73・1155

骨髄・末梢血管細胞移植は、白血病や再生不良性貧血などによって、正常な造血が行われなくなってしまう患者への有効な治療法です。日本骨髄バンクに登録している、骨髄移植を必要とする患者は、全国で1858人（広島県では15人）です。（令和2年7月末日現在）

しかし、移植を行うためには、患者とドナー（骨髄を提供する人）の白血球の型（HLA型）が一致する必要があります。その確率は、兄弟姉妹間で4人に1人、非血縁者間で数百人～数万人に1人のため、ドナー候補者が見つからず、移植を受けられない人が数多くいます。

「骨髄バンク」は、移植を希望する人たちのために骨髄・末梢血管細胞を提供したい、という人をドナーとしてあらかじめ登録し、移植を希望する人の白血球の型と適合したときに提供してもらうシステムです。

一人でも多くの患者に移植の機会が確保されるよう、骨髄バンクへの登録をお願いします。

詳しくは、「日本骨髄バンク」へお問い合わせください。

あなたにしか救えない命があります。



ドナー登録は18歳から54歳まで

※本市では、令和2年度から、骨髄または末梢血管細胞の提供をした人で、骨髄などの提供を行うための特別の休暇など、有給休暇を取得していない人（または自営業者で休業により収入が減少する人）へ、「庄原市骨髄ドナー助成金」を交付する制度を設けています。詳しくは、保健医療課までお問い合わせください。

【骨髄ドナー助成金の問い合わせ】  
保健医療課医療予防係

☎0824・73・1155

【骨髄移植などの問い合わせ】  
日本骨髄バンク

☎03・5280・1789